

CITATION: Kettle C, Dowswell T, Ismail KMK. *Cochrane Database of Systematic Reviews*
Cochrane Pregnancy and Childbirth Group, Issue 6. Art. No.: CD000006. DOI:
10.1002/14651858.CD000006.pub2
CRG名: Cochrane Pregnancy and Childbirth Group

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 30 April 2010
Clib issue No.; N/U: 2010 Issue 6; Update

アブストラクト

背景: 妊婦の約70%が、経膈分娩後に会陰部外傷を経験し、縫合を必要とする。これが疼痛、抜糸、性交疼痛をもたらすことがある。

目的: 会陰修復後の短期および長期罹病率に及ぼすさまざまな縫合糸素材の影響を評価すること。

検索戦略: Cochrane Pregnancy and Childbirth Group's Trials Registerを検索した(2010年2月)。

選択基準: 経膈分娩後の会陰修復に用いられるさまざまな縫合糸素材を比較したランダム化試験。

データ収集と分析: レビューア2名が、個別に試験の質を評価し、データを抽出した。

主な結果: 妊婦計10,171例を対象とした18試験を選択した。比較内容は、腸線と標準的合成縫合糸(9試験)、迅速吸収型合成縫合糸(2試験)、グリセロール含浸腸線縫合糸(2試験)との比較; 標準的合成縫合糸と迅速吸収型合成縫合糸(5試験)およびモノフィラメント縫合糸(1試験)との比較であった。

腸線(カットグッド)と比べて、標準的合成縫合糸は分娩後3日以内の疼痛が少なく[リスク比(RR)0.83、95%信頼区間(CI)0.76~0.90]、分娩後10日間までは鎮痛薬の使用量が少なかった(RR 0.71、95%CI 0.59~0.87)。再縫合を要した割合は、腸線で縫合した女性(1,201例中15例)のほうが合成縫合糸で縫合した女性(1,201例中3例)よりも多く(RR 0.25、95%CI 0.08~0.74)、また標準的合成縫合糸で縫合した女性のほうが、非吸収性縫合糸の抜糸を必要とする割合が高かった(RR 1.81、95%CI 1.46~2.24)。標準的合成縫合糸を迅速吸収型縫合糸と比較した結果、短期および長期疼痛は同等であった。1件の試験では、迅速吸収型縫合糸を用いた女性のほうが、10日目に鎮痛薬の使用を報告した割合が低かった(RR 0.57、95%CI 0.43~0.77)。標準的合成縫合糸群の女性のほうが、抜糸を必要とする割合が迅速吸収型縫合糸群の女性よりも多かった(RR 0.24、95%CI 0.15~0.36)。長期疼痛(出産後3ヵ月)または3ヵ月、6~12ヵ月の時点の性交疼痛について、有意な群間差を示すエビデンスは認められなかった。腸線とグリセロール含浸腸線を比較した結果、大部分のアウトカムは同等であったが、グリセロール含浸腸線は短期疼痛に関連する割合が高かった。モノフィラメントと標準的ポリグリコール酸縫合糸を比較した1件の試験では、大部分のアウトカムに差異は認められなかった。

レビューアの結論: 腸線は、合成縫合糸に比べて短期疼痛を増加させる可能性がある。標準的合成縫合糸と迅速吸収型合成縫合糸の間に差異はほとんど認められなかったが、標準的縫合糸では抜糸を必要とする割合が高かった。その他の素材については、十分な量のエビデンスがなく、結論が得られなかった。今回の知見は、縫合技術に関する関連コクラン・レビューに照らして解釈する必要がある。

平易な要約(Plain language summary)

分娩時の会陰切開および裂傷の修復に用いられる吸収縫合糸

経膈分娩を行う妊婦の約70%は、裂傷や切開(会陰切開)により会陰にある程度の損傷を来し、縫合を必要とします。この損傷は出産後2週間にわたり会陰痛をもたらす、一部の女性は長期に及ぶ疼痛や性交時の不快感を経験します。会陰部外傷の影響は、ホルモンの変化や新生児の要求に対処しようと努力している母親に苦痛をもたらす、その性的関係に長期的影響を及ぼすこともあります。会陰の縫合に用いられる現代の素材の大部分は、徐々に吸収され、抜糸する必要がありません。しかし、時折、医師や助産師が抜糸を行わなければならないこともあります。少数ですが会陰創が開いたり(離開)、治癒が遅延したりすることがあり、中には再縫合しなければならない場合もある。

(監訳 江藤 宏美)

翻訳公開日:2015年 1月 27日

ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年12回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。